



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名 東洋紡績株式会社

上場取引所 東 大

コード番号 3101 URL <http://www.toyobo.co.jp/annai/zaimu>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 坂元 龍三

問合せ先責任者 (役職名) IRグループ長

(氏名) 浅井 治夫

TEL 06-6348-3044

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	87,239	6.2	5,671	27.0	5,541	38.1	2,879	—
23年3月期第1四半期	82,161	12.9	4,465	—	4,012	—	△2,478	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 3,459百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △1,177百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	3.25	3.25
23年3月期第1四半期	△3.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	446,455	149,899	28.2
23年3月期	443,516	149,773	28.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 125,807百万円 23年3月期 125,770百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.50	3.50
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	3.50	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	170,000	0.2	10,000	△8.7	8,500	△5.0	4,000	—	4.51
通期	355,000	4.2	22,000	5.3	19,000	11.5	9,000	116.6	10.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	890,487,922 株	23年3月期	890,487,922 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	3,835,957 株	23年3月期	3,833,088 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	886,653,317 株	23年3月期1Q	746,684,027 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）P. 3の「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における当社グループを取り巻く事業環境は、国内においては、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、個人消費には下げ止まりが見られ、企業の生産においても、サプライチェーンの急回復により、上向きの動きが見られました。また、中国をはじめとしたアジアにおける堅調な需要に牽引され、輸出においても緩やかな回復が見られました。

このような環境のもと、当社グループは、平成26年3月期を最終年度とする4ヶ年の中期経営計画に沿って、「環境、ライフサイエンス、高機能で、新たな価値を提供するカテゴリートップ企業」をめざしております。当第1四半期においては、バイオマス原料を使った高融点ポリアミド樹脂や血糖モニター用酵素などの新製品の拡販に努めるとともに、医薬品受託事業では注射剤製造設備の増強を決定するなど、環境、ライフサイエンス分野での拡大を図りました。液晶・電子部品、自動車関連などの高機能分野では、タッチパネル用、セラミックコンデンサー工程用フィルムの拡販や、アジア地域での機能樹脂の販売数量拡大に努めました。

以上の結果、売上高は前年同期比51億円（6.2%）増の872億円となり、営業利益は同12億円（27.0%）増の57億円、経常利益は同15億円（38.1%）増の55億円、四半期純利益は同54億円増の29億円（前年同期は四半期純損失25億円）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりです。

（フィルム・機能樹脂事業）

当事業は、食品包装分野は順調に推移しましたが、液晶分野、自動車分野でユーザーの減産影響を受けたため、前年同期と比べ、増収、減益となりました。

フィルム事業では、食品包装用フィルムは、順調に売上を伸ばしました。工業用フィルムは、セラミックコンデンサーの旺盛な需要に支えられ、工程用フィルムなどは堅調に推移しました。一方、液晶関連では一部ユーザーの生産調整と円高の影響を受けたため、同分野の荷動きが好調であった前年同期に比べると減収となりました。機能樹脂事業では、工業用接着剤“バイロン”は、中国を中心とした海外の電子部品用途が堅調に推移した結果、増収となりました。エンジニアリングプラスチックは、主力の自動車分野でユーザーの減産により苦戦しました。

この結果、当事業の売上高は、前年同期比34億円（10.2%）増の362億円となり、営業利益は同2億円（4.6%）減の36億円となりました。

（産業マテリアル事業）

当事業は、東日本大震災の影響および自動車分野のユーザーの減産による販売数量の減少があったものの、環境関連分野が堅調に推移したことから、前年同期と比べ、増収、増益となりました。

エアバッグ用基布およびタイヤコードは、ユーザーの減産により減収となりました。超高強力ポリエチレン繊維“ダイニーマ”も、東日本大震災の影響により販売数量が伸び悩みました。一方、フィルター分野では、空調用フィルターが好調に推移するとともに、溶剤回収装置が企業の設備投資の回復を受け、売上を大幅に伸ばしました。また、火力発電所等の粉塵回収に使用されるバグフィルター用PPS繊維“プロコン”は、海外向け需要が堅調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は、前年同期比0億円（0.2%）増の164億円、営業利益は、同2億円（35.5%）増の9億円となりました。

（ライフサイエンス事業）

当事業は、バイオ事業をはじめ、医薬事業、機能膜事業も好調に推移し、前年同期に比べ、増収、増益となりました。

バイオ事業では、主力製品である診断薬用酵素が、国内および欧州を中心に売上を伸ばしました。メディカル事業においては、医薬品製造受託事業で注射剤関連案件が堅調に推移しました。機能膜事業においては、医用膜は、新製品の貢献で売上を伸ばしました。アクア膜は、国内および海外向けの既存プラントの交換膜出荷が好調に推移しました。ファインケミカル事業においては、合成薬中間体の販売数量が減少しました。

この結果、当事業の売上高は、前年同期比6億円（8.8%）増の74億円、営業利益は、同0億円（5.4%）増の7億円となりました。

（衣料繊維事業）

当事業は、前年同期に比べ、増収、増益となりました。

スポーツアパレル分野では、アパレル製品事業が市況の回復により、売上を伸ばしました。インナー分野では、機能素材を中心に販売数量を拡大しました。テキスタイル分野では、ユニフォームは順調に売上を伸ばしました。中東向けの特化生地は販売数量を拡大したものの、円高の影響もあり苦戦しました。アクリル繊維“エクスラン”は、海外向けを中心に出荷は堅調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は、前年同期比5億円（2.6%）増の213億円となり、営業利益は同10億円増の6億円（前年同期は営業損失3億円）となりました。

（不動産事業・その他事業）

当事業では、不動産、エンジニアリング、情報処理サービス、物流サービス等のインフラ事業は、それぞれ概ね計画どおりに推移しました。

この結果、当事業の売上高は、前年同期比5億円（9.8%）増の60億円となり、営業利益は同0億円（3.1%）増の5億円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前年度末比29億円（0.7%）増の4,465億円となりました。これは、主として、商品及び製品が増加したことによります。

負債は、前年度末比28億円（1.0%）増の2,966億円となりました。これは、主として、流動負債のその他が増加したことによります。

純資産は、利益剰余金が減少しましたが、為替換算調整勘定が増加したことなどにより、前年度末比1億円（0.1%）増の1,499億円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月9日の前回発表業績予想においては、東日本大震災の影響による販売数量の減少などを織り込み、第2四半期連結累計期間および通期の営業利益、経常利益において前年度実績を下回る予想としておりました。

しかしながら、第1四半期における東日本大震災の影響による販売数量の減少などについて、自動車関連分野等の一部の事業にとどまり、電子部品分野、環境関連分野が堅調に推移した結果、第1四半期での売上高およびすべての利益項目で、前年同期実績を上回りました。

今後も為替動向や電力供給制約の懸念等の先行き不透明感があるものの、第1四半期の業績が期初の予想を上回ったことや第2四半期以降は自動車関連分野での回復も見込まれることから、第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想について、下記のとおり修正します。

平成24年3月期第2四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益
前回発表予想（A）	160,000	8,000	6,000	2,300
今回修正予想（B）	170,000	10,000	8,500	4,000
増 減 額（B－A）	10,000	2,000	2,500	1,700
増 減 率（%）	6.3	25.0	41.7	73.9

平成24年3月期通期

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前回発表予想（A）	345,000	20,000	16,000	7,000
今回修正予想（B）	355,000	22,000	19,000	9,000
増 減 額（B－A）	10,000	2,000	3,000	2,000
増 減 率（%）	2.9	10.0	18.8	28.6

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,014	18,786
受取手形及び売掛金	72,647	73,868
商品及び製品	38,794	41,786
仕掛品	13,803	15,588
原材料及び貯蔵品	13,391	14,961
その他	11,668	11,811
貸倒引当金	△316	△264
流動資産合計	172,001	176,536
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	47,510	47,653
機械装置及び運搬具（純額）	37,026	37,719
土地	106,949	106,838
その他（純額）	12,267	10,669
有形固定資産合計	203,751	202,879
無形固定資産	1,872	1,772
投資その他の資産		
その他	67,341	66,745
貸倒引当金	△1,450	△1,476
投資その他の資産合計	65,892	65,268
固定資産合計	271,515	269,919
資産合計	443,516	446,455

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,068	51,832
短期借入金	49,870	51,150
1年内返済予定の長期借入金	26,990	26,059
引当金	4,276	2,194
その他	33,239	37,004
流動負債合計	163,444	168,239
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	52,990	51,786
退職給付引当金	15,867	16,192
役員退職慰労引当金	435	360
環境対策引当金	1,085	1,084
その他	44,923	43,895
固定負債合計	130,299	128,317
負債合計	293,743	296,556
純資産の部		
株主資本		
資本金	51,730	51,730
資本剰余金	32,227	32,227
利益剰余金	15,481	15,261
自己株式	△562	△562
株主資本合計	98,876	98,656
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	305	238
繰延ヘッジ損益	△159	△171
土地再評価差額金	38,132	38,120
為替換算調整勘定	△11,384	△11,036
その他の包括利益累計額合計	26,894	27,151
少数株主持分	24,003	24,092
純資産合計	149,773	149,899
負債純資産合計	443,516	446,455

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	82,161	87,239
売上原価	64,025	67,970
売上総利益	18,135	19,269
販売費及び一般管理費	13,670	13,598
営業利益	4,465	5,671
営業外収益		
受取配当金	422	372
持分法による投資利益	157	316
その他	891	808
営業外収益合計	1,470	1,496
営業外費用		
支払利息	712	556
退職給付会計基準変更時差異の処理額	393	391
その他	818	678
営業外費用合計	1,923	1,626
経常利益	4,012	5,541
特別利益		
固定資産売却益	6	92
その他	—	5
特別利益合計	6	97
特別損失		
訴訟関連損失	489	756
その他	4,696	171
特別損失合計	5,185	927
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△1,167	4,711
法人税等	1,088	1,535
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△2,255	3,176
少数株主利益	223	297
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△2,478	2,879

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△2,255	3,176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	975	△71
繰延ヘッジ損益	△41	△13
為替換算調整勘定	185	353
持分法適用会社に対する持分相当額	△42	14
その他の包括利益合計	1,078	284
四半期包括利益	△1,177	3,459
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,418	3,148
少数株主に係る四半期包括利益	241	311

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	フィルム・ 機能樹脂 事業	産業 マテリアル 事業	ライフ サイエンス 事業	衣料繊維 事業	不動産 事業	計				
売上高										
外部顧客に対 する売上高	32,796	16,369	6,810	20,707	1,253	77,936	4,225	82,161	—	82,161
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	106	172	4	72	289	644	1,343	1,987	△1,987	—
計	32,902	16,541	6,814	20,779	1,543	78,580	5,568	84,147	△1,987	82,161
セグメント利益 又は損失 (△)	3,754	698	639	△332	444	5,202	37	5,239	△774	4,465

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物・機械等の設計・施工、情報処理サービス、物流サービス等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△774百万円には、セグメント間取引消去16百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△789百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	フィルム・ 機能樹脂 事業	産業 マテリアル 事業	ライフ サイエンス 事業	衣料繊維 事業	不動産 事業	計				
売上高										
外部顧客に対 する売上高	36,155	16,404	7,408	21,256	975	82,198	5,041	87,239	—	87,239
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	26	23	24	334	289	696	2,000	2,696	△2,696	—
計	36,181	16,427	7,432	21,590	1,264	82,894	7,041	89,935	△2,696	87,239
セグメント利益	3,581	946	674	624	376	6,200	119	6,320	△649	5,671

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物・機械等の設計・施工、情報処理サービス、物流サービス等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△649百万円には、セグメント間取引消去43百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△692百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。